

令和2年度スポーツ庁委託事業
「障害者スポーツ推進プロジェクト」
(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)

成果報告書

令和3年3月
北海道

令和2年度スポーツ庁委託事業 北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

- 北海道は、日本の国土面積の約22%を占める一方、人口は全体の約4.2%にしかすぎず、その多くが札幌市などの都市部に集中し、特に地方では少子高齢化と過疎化が進行しています。
- そのため、地方では障がいのある方が点在して居住しており、障がい者スポーツの団体等が少なく、情報ネットワークも弱い状況にあります。また、障がい者同士が集まり、スポーツを楽しむためには、長距離を移動しなければなりません。
- このような中で、障がい者が身近にスポーツを楽しむ環境を整えていくためには、障がい者と健常者の両スポーツ関係者と、地域のスポーツ施設などが協働し、体制整備を進めるほか、健常者の障がい者スポーツに対する理解を促進させ、ともにスポーツを楽しむ意識改革を促していくことが必要であることから、本事業を実施することとしました。

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

目的・目標

障がいのある方が身近で健常者ととともにスポーツを楽しめる環境を整える

- ◇ 障がい者と健常者のスポーツ関係者、地域のスポーツ施設の協働による体制をつくる
- ◇ 障がい者スポーツへの理解を促進し、障がい者と健常者がともにスポーツを楽しめる環境をつくる

事業内容

ジュニア向け障がい者
スポーツ体験会の開催

道立スポーツ施設を活用

ノウハウ等を全道へ普及

健常者

障がい者スポーツへの理解促進

障がい者

スポーツを始めるきっかけ、活動の場の提供

スポーツ団体

双方の連携・協力、情報交換の場の提供

スポーツ施設

障がい者スポーツへの理解促進
障がい者がより利用しやすい配慮や工夫への気づき

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

実行委員会

(1) 会議の目的

障がい者に身近な場所でスポーツに親しむ機会を提供するとともに、障がい者も含め、健常者の障がい者スポーツ体験・理解を促進するため、効果的なスポーツ体験会の内容等を協議・検討するとともに、本事業の成果の評価・検証を行う。

(2) 検討事項

- ・障がい者スポーツの連携に係る課題把握と分析
- ・障がい者スポーツ体験会の内容検討
- ・障がい者スポーツ体験会の検証及び評価

(3) 委員（他にオブザーバーとして理学療法士、医学博士も参加）

1	北海道障がい者スポーツ指導者協議会 会長 岡崎 勇二
2	札幌NFC（知的障がい者スポーツ団体）理事長 岡田 裕樹
3	北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科助教 近藤 尚也
4	北海道フェンシング協会理事 齋藤 肇
5	北海道サッカー協会名誉会長 鈴木 重男
6	ナマール北海道（ブラインドサッカーチーム）監督 高橋 翔平
7	北海道スポーツ協会事務局長 高間 亨
8	札幌市障がい者スポーツ協会事務局長 豊島 邦幸
9	北海道オール・オリンピックズ パラリンピアン 永瀬 充
10	北海道障がい者スポーツ協会事務局長 羽田 慎哉
11	国立大学法人 北海道教育大学札幌校教授 安井 友康



北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

実行委員会

(4) 実施内容

◆ 第1回実行委員会

期日／令和2年10月7日（水）18:00～19:30

場所／札幌市

内容／事業計画・内容の検討

コロナ対策、障がい種別毎の対応、体験競技など

(委員からの主な意見)

- ・新型コロナウイルスの感染が収まっておらず、これからインフルエンザの時期も迎えることから、不特定多数が集まるスポーツ体験会の開催は困難ではないか
- ・体験会では接触は不可避である。少なくとも北海道が外出自粛要請を行っている期間は中止すべきではないか
- ・教育関係者等が一生懸命、感染予防対策を行っている中で実施して理解を得られるか など

■ 委員意見を受け、計画変更

参加者を特定・限定し、道立スポーツ施設でスポーツ体験をしていただいた後に、障がい者が利用しやすい施設やスポーツ環境などについて意見交換する計画に変更。

◆ 第2回実行委員会

期日／令和3年3月11日（木）10:00～11:30

場所／札幌市

内容／事業結果報告（評価と検証）と次年度に向けて

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

実行委員会

	当初計画
目的	障がい者と健常者がともにスポーツ体験することで、双方の心のハードルを下げ、障がい者スポーツの支援者・施設利用を地域に広げる
開催時期	令和2年11月～令和3年1月の間で4回
会場	北海道立総合体育センター
実施内容	健常者と障がい者によるスポーツ体験会
参集範囲	・参加を希望する障がい者・健常者 ・健常者と障がい者スポーツ指導者 ・施設関係者 など



	変更計画
目的	現地で体験会・意見交換会を開催し、障がい者のスポーツ環境の改善や利用しやすい施設づくりについて検討する。
開催時期	令和2年11月～令和3年1月の間で4回
会場	北海道立総合体育センター
実施内容	コロナ禍を踏まえ、参加者を特定・限定する形で次年度の運営に向けたモニタリング体験会
参集範囲	・障がい者スポーツの団体・チーム (毎回、1団体・チームに限定) ・健常者と障がい者スポーツ指導者 ・施設関係者 など

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

体験会・意見交換会

- **新型コロナウイルス（第3波）による集中対策期間の延長**
北海道では、昨年秋より新型コロナウイルス感染症の感染が再び拡がり、クラスターも多発したため、独自に集中対策期間を設定。不要不急の外出自粛要請等の対策を実施（令和2年10月28日～令和3年3月7日）
- **障がい者スポーツ団体やチームも多くが活動を自粛**



新型コロナウイルス感染症がある程度収束し、不要不急の外出自粛要請が解除された時点での事業実施を目指し、実行委員の意見を聞きながら開催を延期してきたが、見通しが立たず、最終的に**中止**を決定。

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

情報交換会

◆北海道パラスポーツネットワーク会議の設置

体験会・意見交換会は開催出来なかったが、健常者スポーツや障がい者スポーツの関係者、施設管理者等による継続的な情報交換の場として、実行委員メンバーを中心とし、新たにWebを活用した「北海道パラスポーツネットワーク会議」を設置。

今後も情報交換会を継続開催し、障がい者スポーツのネットワーク形成を支援するとともに、今後、実行委員会や情報交換会でのご意見等を基に、障がい者スポーツへの理解を促進し、環境整備を図っていく。

令和2年度の開催状況

回	開催日	参加者人数
第1回	令和2年10月7日	16名（13機関・団体）
第2回	令和3年1月6日	16名（13機関・団体）
第3回	令和3年2月17日	23名（20機関・団体）

北海道障がい者スポーツ推進プロジェクト事業

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、北海道が実施した令和2年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。